



浄土真宗本願寺派 小倉組

サンガ小倉

SANGA KOKURA SUMMER ISSUE

2022 JUN

6月

夏号

令和4年 6月発行

「私に至り届く世界」

安楽寺／若院 仁保 依正

一年前の四月に、私の一つ上の先輩で、仲の良い友人でもあった人が、闘病生活の末、病で往生しました。満三十九歳でした。



ある和上さんは、父親が往生された際、「悲しくはあるが寂しくはない」と感じたそうです。私は、「寂しくはない」とまでは言い切れない、というのが正直なところでした。その友人との記憶を思い返せば、色々なことが浮かびあがります。もう、あんな風に一緒に時間を過ごすことはないんだな、そう考えると寂しさを感じます。しかし、「何も寂しがることはないんだよ」と言われれば、確かにそうかもしれないなども感じるができます。いつか同じ世界へ、お浄土へ、自分も

生まれていくんだな、必ず同じところへ生まれさせてみせるという仏様がいて下さる。浄土真宗のみ教えに出遇わせていただいたからこそ、「寂しくはない」という世界が開けてくるのでしよう。

お浄土は死後の世界である、そういうイメージを持つ人が多いでしょう。確かに、私たちは、この世の縁が尽きた後にお浄土へと参らせていただきます。それでは、お浄土は死んだ後にだけ自分と関係してくる世界なのかというと、それは違います。

親鸞聖人は、阿弥陀如来様のお浄土を、「無量光国土（限りない光の世界）」であるとお示しになりました。いつでも、どこにいても、至り届いてくる世界なのです。そうして私に至り届いたからこそ、私はお浄土に遇わせていただいたのです。今、この私に至り届いているからこそ、私は、お浄土参りの人生を、現在進行形で生かさせてもらっているのだと断言できるので

す。

親鸞聖人は、自分より先に往生したお弟子さん pensando 思っ て出されたお手紙の中で、「必ず『一つところ』（同じところ）に、私も参りあわせていただきます」と、ご自身の思いをあらわされております。

「寂しくはない」とまでは

言い切れません。しかし、寂しさを感じているからといって救われないという仏様ではありません。寂しさを感じることもあるよねと、この私に寄り添い続けてくれるのが阿弥陀如来様であります。その阿弥陀如来様のおはたらきによって、私もいつか『一つところ』（同じところ）へと生まれさせていただく、また会える世界があるのだと、前を向いて生きていくことができます。そのように生きていくことができるのは、「お浄土」がこの私に至り届いているからです。阿弥陀如来様のおはたらきが、限りない光の世界が、今、この私に、至り届いているのです。



皆様からのご意見・ご感想をお寄せ下さい。

連絡先

広報伝道部
古法寺

〒802-0004 小倉北区鍛冶町1丁目3-18
Tel.521-8654 Fax.521-2213

法座のご案内

2022年6月から 2022年9月まで

6月・7月・8月・9月の法要予定

6月				
永代経法要	西宗寺	29日(昼夜)・30日(昼夜)・7月1日(昼)	昼13時半、夜19時半	村田 朝雅
7月				
盆法要	正行寺	9日(昼夜)・10日(昼夜)・11日(昼)	昼13時半/夜19時半	葛野 洋明
盆法要	明恩寺	9日(昼)・10日(昼)・11日(昼)	昼13時半	未定
盆法要	萬徳寺	12日(昼)・13日(昼)・14日(昼)	昼13時半	加来 諭
8月				
盆法要	浄教寺	11日	16時	藤上 良裕【住職】
盆法要	西宗寺	13日(昼)・14日(昼)・15日(昼夜)	昼15時/夜19時半	西宗寺法中
盆法要	慈光寺	15日(昼)	昼13時半	柳原 浩文【住職】
盆法要	永明寺	15日	16時	松崎 智海【住職】
盆法要	永楽寺	15日(夜)	夜19時	坂本 了一【住職】
9月				
秋季彼岸法要	安楽寺	9日(昼)・10日(朝昼)	朝10時/昼13時半	稲田 静真
秋季彼岸法要	萬徳寺	12日(昼)・13日(朝昼)・14日(朝昼)	朝9時半/昼13時半	濱畑 慧懐
秋季彼岸法要	西蓮寺	17日(昼夜)・18日(朝昼)	朝10時/昼13時半/夜19時	武田 正文
秋季彼岸法要	永明寺	19日(朝昼)	朝10時/昼13時半	宗 秀融
秋季彼岸法要	西願寺	20日(昼)	昼13時半	平山 義文
秋季彼岸法要	西宗寺	21日(昼夜)・22日(昼夜)・23日(昼)	昼13時半/夜19時半	濱畑 慧懐
秋季彼岸法要	明恩寺	22日(昼)・23日(昼)・24日(昼)	昼13時半	大江 智城
秋季彼岸法要	西教寺	23日(昼)	昼13時半	坂本 了一
秋季彼岸法要	慈光寺	23日(昼)	昼13時半	柳原 浩文【住職】
秋季彼岸法要	明圓寺	23日(昼)	昼13時半	井上 顕悟【若院】
秋季彼岸法要	永楽寺	24日(昼)	昼13時半	瓜生 正真
秋季彼岸法要	正行寺	25日(昼夜)・26日(昼夜)・27日(昼)	昼13時半/夜19時半	玉木 興慈
秋季彼岸法要	極楽寺	30日(昼)	昼13時	福光 得真【住職】

※ 新型コロナウイルス感染拡大の状況により法要が中止になる場合があります。ご不明な点は各寺にお問い合わせください。



2022(令和4)年度 小倉組 組会 開催

去る令和4年4月12日午後4時より、パークサイドビル(小倉北区堺町)9階大会議室に於いて

「2022(令和4)年度 小倉組 組会(そかい)」が開催されました。

当日は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、組執行部と組内各寺より選定された組会議員(委任状での対応有)並び、各教化団体代表者が集まり、議長が選任され、活動報告、決算報告、監査報告、予算審議などについて協議され議決承認されました。

まだまだ新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中での集まりでしたので、例年よりかなり早く議事進行がされ、気の抜けない昨今の現状を考えさせられる組会でありました。

(文責:小倉組広報伝道部 古法寺住職)

